



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 イビデン株式会社  
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 佐野 尚  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 0584 - 81 - 3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	216,905	1.1	13,166	86.3	14,887	61.1	8,182	
2019年3月期第3四半期	214,503	0.2	7,068	34.6	9,243	25.8	735	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 9,492百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 6,171百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.56	
2019年3月期第3四半期	5.26	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	524,791	280,913	52.5	1,970.17
2019年3月期	423,056	276,305	64.0	1,938.59

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 275,304百万円 2019年3月期 270,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	3.0	17,000	67.7	17,000	34.9	9,000	172.2	64.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	140,860,557 株	2019年3月期	140,860,557 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,124,680 株	2019年3月期	1,138,769 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	139,735,171 株	2019年3月期3Q	139,720,679 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しましたが、米中の通商問題に端を発した中国経済の減速傾向や英国のEU離脱等における各国政策の不確実性に伴うリスクにより、不安定さを増しております。国内経済も、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、輸出や生産の一部に弱さが見られるなど、企業をとりまく経営環境は不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン・スマートフォン市場に下げ止まりの兆しが見られたことに加え、データセンター向けサーバー市場を中心とした新たな市場が概ね堅調に推移したこともあり、全体としては成長傾向で推移しております。

自動車業界の排気系部品市場は、自動車販売台数が世界的にマイナス成長となったことに加え、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、引き続き厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より始動しております5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」に基づき、人材育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,169億5百万円と前年同期に比べ24億2百万円（1.1%）増加しました。営業利益は131億66百万円と前年同期に比べ60億98百万円（86.3%）増加しました。経常利益は148億87百万円と前年同期に比べ56億44百万円（61.1%）増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては81億82百万円と、前年同期に比べて89億18百万円（前年同期は7億35百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### 電子事業

パッケージ（PKG）事業におきましては、パソコン市場に下げ止まりの兆しが見えたことに加え、ICTの進展に伴うデータ処理量の増加により、データセンターで使われるサーバー向けICパッケージ基板の需要が順調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板（MLB）事業におきましては、サーバー向けモジュール基板の売上はおおむね堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けの売上が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は979億9百万円となり、前年同期に比べ11.4%の増加となりました。同事業の営業利益は、PKG事業の売上増加と不採算製品の生産縮小などによる事業の選択と集中を進めた結果、99億53百万円となり、前年同期に比べ747.8%増加しました。

#### セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）は、主力の欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。今後、排ガス規制の強化に伴い拡大が見込まれる新興国の大型車向けDPF市場におけるシェア拡大と新規顧客への拡販に取り組んでまいります。

触媒担体保持・シール材（AFP）は、世界的に自動車販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

NOx浄化用触媒担体（SCR）は、主に石炭火力発電所で使用される定置式の脱硝触媒の販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

特殊炭素製品（FGM）は、米中貿易摩擦の影響に端を発した半導体市場の減速により、一時的に需要が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は673億69百万円となり、前年同期に比べ12.6%減少しまし

た。同事業の営業利益は4百万円となり、前年同期に比べ99.9%減少しました。

#### 建設事業

建設部門におきましては、受注は堅調であるものの、一部工事の施工計画変更により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、建設事業の売上高は34億96百万円となり、前年同期に比べ5.1%減少しました。同事業の営業利益は、9億21百万円となり、前年同期に比べ2.9%減少しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の拡販に努めた結果、前年同期に比べ売上高は増加しました。

その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売数量の減少及び販売価格の下落により、前年同期に比べ売上高は減少しました。また、合成樹脂加工部門は、建材分野向け発泡樹脂製品ならびに自動車分野向け射出製品の販売数量増加により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上の結果、その他事業の売上高は481億30百万円となり、前年同期に比べ5.0%増加しました。同事業の営業利益は、24億80百万円となり、前年同期に比べ55.0%増加しました。

#### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、設備投資に関連して発生する固定資産除却損が当初の見込みから低減する見通しとなり、親会社株主に帰属する当期純利益を2019年4月24日の公表値70億円から90億円に変更しております。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,492	179,719
受取手形及び売掛金	60,278	64,310
商品及び製品	17,793	13,636
仕掛品	11,357	15,557
原材料及び貯蔵品	19,619	20,662
その他	6,528	10,798
貸倒引当金	△98	△168
流動資産合計	228,972	304,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,212	58,647
機械装置及び運搬具（純額）	46,309	43,891
土地	19,962	19,841
リース資産（純額）	21	11
建設仮勘定	13,342	38,718
その他（純額）	4,863	5,454
有形固定資産合計	146,710	166,564
無形固定資産		
投資その他の資産	4,162	4,224
投資有価証券	39,142	45,203
長期貸付金	9	8
繰延税金資産	2,915	3,019
その他	1,405	1,510
貸倒引当金	△261	△256
投資その他の資産合計	43,210	49,485
固定資産合計	194,084	220,275
資産合計	423,056	524,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,562	45,901
短期借入金	20,030	30,030
1年内償還予定の社債	25,000	-
未払金	9,111	18,009
未払法人税等	2,366	1,242
賞与引当金	3,438	1,676
役員賞与引当金	89	-
関係会社整理損失引当金	4,864	1,518
設備関係支払手形	1,618	6,746
その他	12,001	13,235
流動負債合計	118,082	118,361
固定負債		
社債	15,000	50,000
長期借入金	10,000	70,000
リース債務	43	41
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	671	631
株式報酬引当金	179	225
繰延税金負債	1,974	3,388
その他	729	1,161
固定負債合計	28,668	125,516
負債合計	146,751	243,877
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	122,144	125,431
自己株式	△2,602	△2,575
株主資本合計	248,274	251,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,415	16,736
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	10,012	6,819
その他の包括利益累計額合計	22,588	23,716
非支配株主持分	5,442	5,609
純資産合計	276,305	280,913
負債純資産合計	423,056	524,791

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	214,503	216,905
売上原価	171,379	167,562
売上総利益	43,123	49,343
販売費及び一般管理費	36,055	36,176
営業利益	7,068	13,166
営業外収益		
受取利息	203	208
受取配当金	1,050	1,031
持分法による投資利益	0	-
為替差益	286	616
受取補償金	830	-
その他	576	449
営業外収益合計	2,948	2,306
営業外費用		
支払利息	114	123
社債発行費	-	146
持分法による投資損失	-	0
支払補償費	101	-
その他	556	315
営業外費用合計	773	585
経常利益	9,243	14,887
特別利益		
固定資産売却益	17	130
投資有価証券売却益	936	0
負ののれん発生益	87	-
段階取得に係る差益	161	-
その他	3	17
特別利益合計	1,206	147
特別損失		
固定資産除却損	617	1,715
投資有価証券売却損	-	45
関係会社整理損	6,693	459
割増退職金	-	686
災害による損失	69	-
その他	62	67
特別損失合計	7,442	2,974
税金等調整前四半期純利益	3,007	12,061
法人税等	3,538	3,741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△530	8,319
非支配株主に帰属する四半期純利益	204	136
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△735	8,182



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△530	8,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,541	4,353
繰延ヘッジ損益	△43	-
為替換算調整勘定	△55	△3,181
その他の包括利益合計	△5,640	1,172
四半期包括利益	△6,171	9,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,398	9,310
非支配株主に係る四半期包括利益	227	181

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は、軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、第1四半期連結会計期間より、次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼動することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益並びに税金等調整前四半期純利益が568百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への売上高	87,922	77,060	3,684	168,667	45,835	214,503	—	214,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	200	4,047	4,248	805	5,054	△5,054	—
計	87,923	77,260	7,731	172,916	46,640	219,557	△5,054	214,503
セグメント利益	1,174	3,406	949	5,529	1,600	7,130	△62	7,068

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△62百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セラミック」における子会社の解散に伴い、建物及び構築物について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては282百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「セラミック」において、当第3四半期連結会計期間にセラム・リーゲンシャフトツフェルヴァルツウング(株)の株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては87百万円であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「建設」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への売上高	97,909	67,369	3,496	168,774	48,130	216,905	-	216,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	182	4,831	5,013	8,638	13,651	△13,651	-
計	97,910	67,551	8,327	173,788	56,768	230,557	△13,651	216,905
セグメント利益	9,953	4	921	10,879	2,480	13,360	△193	13,166

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△193百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セラミック」における子会社の解散に伴い、建物及び構築物、土地について、帳簿価額を回収可能額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては210百万円であります。

3 会計上の見積りの変更

当社は、第1四半期連結会計期間より、次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼動することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「電子」で568百万円増加しております。